



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アドウェイズ

コード番号 2489 URL <http://www.adways.net/>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 岡村 陽久

問合せ先責任者 (役職名) 管理担当上席執行役員 (氏名) 田中 庸一

TEL 03-5331-6308

四半期報告書提出予定日 平成27年8月3日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト・報道機関向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	9,482	7.4	204	△12.3	220	△8.7	121	29.2
27年3月期第1四半期	8,831	29.1	233	494.9	241	—	94	—

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 116百万円 (439.5%) 27年3月期第1四半期 21百万円 (△73.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	2.93	2.93
27年3月期第1四半期	2.32	2.27

(注) 平成27年3月期第1四半期の経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益の対前年同四半期増減率については、平成26年3月期第1四半期が経常損失及び親会社株主に帰属する四半期純損失のため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第1四半期	20,063	13,041	64.0	308.99
27年3月期	19,806	13,090	65.2	310.44

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 12,844百万円 27年3月期 12,904百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	3.36	3.36
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成27年3月期・期末配当金の内訳: 普通配当 2円35銭、記念配当 1円1銭

平成28年3月期の配当予想については、平成28年3月期の連結業績予想を開示しておりませんので未定とさせていただきます、開示が可能となった時点において速やかに開示いたします。

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

平成28年3月期の業績予想については、当社グループの主力事業である広告事業において、国内及び海外におけるスマートフォンの急成長による市場の変化に合わせた臨機応変な経営が不可欠で、その対応によって当社グループの業績が大きく左右されることから、開示が可能となった時点において速やかに開示いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 6「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期1Q	41,568,500 株	27年3月期	41,568,500 株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	0 株	27年3月期	0 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期1Q	41,568,500 株	27年3月期1Q	40,722,500 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

本資料は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、本資料の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料「平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)」に記載の通り、平成28年3月期の業績予想については、開示が可能となった時点において速やかに開示いたします。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

機関投資家・証券アナリスト・報道機関向け決算説明会は、本資料を開示した同日に開催する予定であります。また、決算説明会で配布する資料は、開催日同日に当社ホームページ(<http://ir.adways.net/>)にて開示いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	5
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	6
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	6
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	6
4. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成27年4月1日から平成27年6月30日)の当社グループにおける連結業績は以下のとおり、前年同期に対して売上高は増加し、営業利益及び経常利益は減少、親会社株主に帰属する四半期純利益は増加となりました。

[連結業績]

(単位：千円、端数切捨て)

	前第1四半期 連結累計期間 (平成27年3月期)	当第1四半期 連結累計期間 (平成28年3月期)	対前年同期増減額 (増減率)
売上高	8,831,036	9,482,352	651,316 (7.4%)
営業利益	233,658	204,945	△28,713 (△12.3%)
経常利益	241,264	220,382	△20,881 (△8.7%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	94,405	121,972	27,567 (29.2%)

売上高は、国内及び海外の広告事業が順調に推移したことにより651,316千円増加し、9,482,352千円(前年同期比7.4%増)となりました。

営業利益及び経常利益は、当第1四半期連結累計期間の4月に新卒社員が入社したことによる人件費の増加や、サービス拡大による費用の増加に伴い販売費及び一般管理費が増加したことにより、それぞれ204,945千円(前年同期比12.3%減)及び、220,382千円(前年同期比8.7%減)となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期に発生した関係会社株式評価損や本社移転費用等の特別損失の減少等により27,567千円増加し、121,972千円(前年同期比29.2%増)となりました。

[報告セグメント別業績]

① 広告事業

(単位：千円、端数切捨て)

	前第1四半期 連結累計期間 (平成27年3月期)	当第1四半期 連結累計期間 (平成28年3月期)	対前年同期増減額 (増減率)
売上高	7,513,550	7,681,467	167,916 (2.2%)
(外部売上高)	7,449,190	7,592,961	143,770 (1.9%)
(セグメント間売上高)	64,359	88,505	24,146 (37.5%)
セグメント利益	725,488	725,325	△163 (△0.0%)

内訳：外部売上高(広告事業)

(単位：千円、端数切捨て)

	前第1四半期 連結累計期間 (平成27年3月期)	当第1四半期 連結累計期間 (平成28年3月期)	対前年同期増減額 (増減率)
スマートフォン向け広告	3,775,171	4,250,665	475,493 (12.6%)
フィーチャーフォン向け広告	281,845	113,047	△168,797 (△59.9%)
モバイル向け広告計	4,057,016	4,363,712	306,695 (7.6%)
PC向け広告	3,392,173	3,229,248	△162,925 (△4.8%)

広告事業は、スマートフォンアプリ向け広告サービス「AppDriver」や、モバイル向けアフィリエイト広告サービス「Smart-C」、PC向けアフィリエイト広告サービス「JANet」を中心に、インターネット上で事業展開を行う企業に対して、インターネット広告を総合的に提供しております。

当第1四半期連結累計期間における広告事業のモバイル向け広告は、広告主がフィーチャーフォン向けからスマートフォン向けに広告出稿をシフトしていること及びアプリなどの広告掲載媒体数が増加していることから売上高が伸長したことにより、モバイル向け広告の売上高は4,363,712千円(前年同期比7.6%増)となりました。

当第1四半期連結累計期間における広告事業のPC向け広告は、金融関連企業を中心に取引が減少したことにより、売上高は3,229,248千円(前年同期比4.8%減)となりました。

この結果、広告事業の売上高は7,592,961千円(前年同期比1.9%増)、営業費用は新卒社員の入社に伴い人件費等が増加したものの、売上総利益の増加が費用の増加を吸収し、セグメント利益は725,325千円(前年同期比0.0%減)とほぼ横ばいとなりました。

②アプリ・メディア事業

(単位：千円、端数切捨て)

	前第1四半期 連結累計期間 (平成27年3月期)	当第1四半期 連結累計期間 (平成28年3月期)	対前年同期増減額 (増減率)
売上高	393,940	252,710	△141,229 (△35.9%)
(外部売上高)	383,367	252,688	△130,679 (△34.1%)
(セグメント間売上高)	10,573	22	△10,550 (△99.8%)
セグメント損失(△)	△94,718	△60,113	34,604 (—)

内訳：外部売上高(アプリ・メディア事業)

(単位：千円、端数切捨て)

	前第1四半期 連結累計期間 (平成27年3月期)	当第1四半期 連結累計期間 (平成28年3月期)	対前年同期増減額 (増減率)
アプリ事業	233,140	125,807	△107,333 (△46.0%)
メディア事業	150,227	126,881	△23,346 (△15.5%)

アプリ・メディア事業は、主に連結子会社である愛徳威軟件開発(上海)有限公司とコパン株式会社においてスマートフォンアプリの開発・運営、連結子会社である株式会社サムライ・アドウェイズにおいて土業向けのポータルサイト等のメディア運営等を行っております。

当第1四半期連結累計期間におけるアプリ事業は、平成25年10月にリリースした「古の女神と宝石の射手」に続く自社グループタイトルの売上が伸長せず、売上高は125,807千円(前年同期比46.0%減)となりました。

当第1四半期連結累計期間におけるメディア事業は、株式会社サムライ・アドウェイズにおいて行っているメディア事業の広告主の出向意欲の低下により、売上高は126,881千円(前年同期比15.5%減)となりました。

この結果、アプリ・メディア事業の売上高は252,688千円(前年同期比34.1%減)、セグメント損失は60,113千円(前年同期は94,718千円の損失)となりました。

③海外事業

(単位：千円、端数切捨て)

	前第1四半期 連結累計期間 (平成27年3月期)	当第1四半期 連結累計期間 (平成28年3月期)	対前年同期増減額 (増減率)
売 上 高	994,807	1,644,705	649,897 (65.3%)
(外 部 売 上 高)	979,169	1,582,826	603,657 (61.6%)
(セグメント間売上高)	15,638	61,878	46,240 (295.7%)
セグメント損失(△)	△1,162	△22,858	△21,695 (－)

海外事業は、中国・香港・台湾・韓国・米国・シンガポールにおいて、現地企業と各国における外国企業を対象として、インターネットマーケティングの総合支援サービスを提供しております。

当第1四半期連結累計期間における海外事業は、各国における現地企業や外国企業へのスマートフォン向け広告の営業を強化したことで、主に台湾子会社及び韓国子会社において、スマートフォン広告の売上高が大幅に伸長したことにより、前年同期比で売上高は増加し、事業拡大に伴う費用の増加によりセグメント損失は増加しました。

この結果、海外事業の売上高は1,582,826千円(前年同期比61.6%増)、セグメント損失は22,858千円(前年同期は1,162千円の損失)となりました。

④その他

(単位：千円、端数切捨て)

	前第1四半期 連結累計期間 (平成27年3月期)	当第1四半期 連結累計期間 (平成28年3月期)	対前年同期増減額 (増減率)
売 上 高	19,772	80,025	60,253 (304.7%)
(外 部 売 上 高)	19,308	53,876	34,568 (179.0%)
(セグメント間売上高)	464	26,149	25,684 (一※)
セグメント損失(△)	△69,420	△79,765	△10,345 (－)

その他は、日本及び海外における新規事業等により構成されております。

当第1四半期連結累計期間におけるその他は、国内においてインターネットを活用した古本買取販売を中心とした新規事業の拡大により、売上高は53,876千円(前年同期比179.0%増)と増加し、セグメント損失は79,765千円(前年同期は69,420千円の損失)となりました。

※セグメント間売上高の対前年同期増減率は、増加率が1,000%以上のため表記しておりません。

(2) 財政状態に関する説明

(単位：千円、端数切捨て)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期 連結会計期間 (平成27年6月30日)	対前期末増減額 (増減率)
資 産 合 計	19,806,604	20,063,219	256,615 (1.3%)
負 債 合 計	6,715,813	7,021,758	305,944 (4.6%)
純 資 産 合 計	13,090,790	13,041,461	△49,329 (△0.4%)

[資産合計]

- ・流動資産が前連結会計年度末より188,668千円増加し17,863,059千円となりました。主な要因は、現金及び預金が197,665千円減少したものの、売掛金が53,791千円増加したこと、及びその他に含まれる前渡金が302,148千円増加したことによるものであります。
- ・固定資産が前連結会計年度末より67,947千円増加し2,200,160千円となりました。主な要因は、投資その他の資産のその他に含まれる投資有価証券が67,849千円増加したことによるものであります。

[負債合計]

- ・流動負債は前連結会計年度末より308,811千円増加し6,922,023千円となりました。主な要因は、その他に含まれる前受金が327,165千円増加したことによるものであります。
- ・固定負債は前連結会計年度末より2,866千円減少し99,735千円となりました。主な要因は、その他に含まれる長期未払費用が2,985千円減少したことによるものであります。

[純資産合計]

- ・前連結会計年度末より49,329千円減少し13,041,461千円となりました。主な要因は、資本剰余金が102,932千円減少したこと、及び利益剰余金が59,212千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループが事業展開を行うインターネット・モバイル関連業界は、スマートフォンの急速な普及に伴う市場の拡大やスマートフォン・タブレット端末をはじめとするインターネット利用端末の多様化などを受け、今後も順調に拡大することが予測されております。これらの傾向は国内だけでなく、海外においても顕著であり、中国をはじめとするアジア諸国においてインターネット関連市場は急速に拡大しております。

当社グループは、これらの拡大が見込まれるスマートフォン関連事業及び海外事業に積極的に注力し、当連結累計期間は事業を成長させ、更なる収益力の向上を目指してまいります。

なお、平成28年3月期通期(平成27年4月1日～平成28年3月31日)の連結業績予想につきましては、当社グループの主力事業である国内及び海外における広告市場の変化に合わせた臨機応変な経営が不可欠で、その対応により当社グループの業績が大きく左右されること、また、当社取引先における業況等の当社業績に対し直接的又は間接的に影響を及ぼす可能性のある外性的要因等を精査の上、開示が可能となった時点において速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

連結の範囲の重要な変更

当第1四半期連結会計期間より、重要性が増したため、非連結子会社であったADWAYS INNOVATIONS SINGAPORE PTE. LTD. を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(3)、連結会計基準第44-5項(3)及び事業分離等会計基準第57-4項(3)に定める経過的な取扱いに従っており、過去の期間のすべてに新たな会計方針を遡及適用した場合の当第1四半期連結会計期間の期首時点の累積的影響額を資本剰余金及び利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首において、のれんが16,947千円減少、資本剰余金が102,932千円減少、利益剰余金が78,517千円増加、投資その他の資産「その他」に含まれる投資有価証券が2,907千円及び関係会社出資金が4,560千円減少しております。また、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ1,314千円増加しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,668,867	11,471,202
受取手形及び売掛金	5,701,903	5,752,596
たな卸資産	37,227	46,128
繰延税金資産	17,866	15,732
その他	390,458	720,339
貸倒引当金	△141,932	△142,941
流動資産合計	17,674,390	17,863,059
固定資産		
有形固定資産	345,223	348,905
無形固定資産		
のれん	57,488	35,832
その他	85,852	78,256
無形固定資産合計	143,341	114,088
投資その他の資産		
その他	1,654,316	1,747,152
貸倒引当金	△10,667	△9,986
投資その他の資産合計	1,643,649	1,737,166
固定資産合計	2,132,213	2,200,160
資産合計	19,806,604	20,063,219
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,938,658	4,853,907
未払法人税等	193,654	194,002
その他	1,480,899	1,874,113
流動負債合計	6,613,211	6,922,023
固定負債		
その他	102,601	99,735
固定負債合計	102,601	99,735
負債合計	6,715,813	7,021,758
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,603,169	1,603,169
資本剰余金	7,397,775	7,294,842
利益剰余金	3,234,692	3,293,905
株主資本合計	12,235,637	12,191,916
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	174,750	149,827
為替換算調整勘定	494,281	502,481
その他の包括利益累計額合計	669,032	652,308
新株予約権	62,191	62,191
非支配株主持分	123,930	135,045
純資産合計	13,090,790	13,041,461
負債純資産合計	19,806,604	20,063,219

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	8,831,036	9,482,352
売上原価	7,251,974	7,683,490
売上総利益	1,579,061	1,798,861
販売費及び一般管理費	1,345,402	1,593,916
営業利益	233,658	204,945
営業外収益		
受取利息	7,930	13,470
消費税等免除益	6,729	1,090
その他	1,442	3,255
営業外収益合計	16,102	17,816
営業外費用		
投資有価証券評価損	793	897
為替差損	4,171	489
持分法による投資損失	1,864	391
その他	1,667	601
営業外費用合計	8,496	2,380
経常利益	241,264	220,382
特別利益		
投資有価証券売却益	—	5,650
特別利益合計	—	5,650
特別損失		
関係会社株式評価損	23,558	—
本社移転費用	8,069	—
固定資産売却損	—	9
減損損失	—	4,742
特別損失合計	31,627	4,751
税金等調整前四半期純利益	209,636	221,280
法人税、住民税及び事業税	99,818	108,759
法人税等調整額	7,046	△18,931
法人税等合計	106,865	89,827
四半期純利益	102,770	131,452
非支配株主に帰属する四半期純利益	8,365	9,479
親会社株主に帰属する四半期純利益	94,405	121,972

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純利益	102,770	131,452
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,167	△24,923
為替換算調整勘定	△83,370	9,834
その他の包括利益合計	△81,202	△15,088
四半期包括利益	21,568	116,363
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	14,292	105,248
非支配株主に係る四半期包括利益	7,275	11,115

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、当第1四半期連結会計期間より、「企業結合に関する会計基準」等を適用しております。この結果、資本剰余金が102,932千円減少、利益剰余金が78,517千円増加しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 3
	広告事業	アプリ・ メディア 事業	海外事業	計				
売上高								
外部顧客に 対する売上高	7,449,190	383,367	979,169	8,811,727	19,308	8,831,036	-	8,831,036
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	64,359	10,573	15,638	90,570	464	91,035	△91,035	-
計	7,513,550	393,940	994,807	8,902,298	19,772	8,922,071	△91,035	8,831,036
セグメント利 益又は損失 (△)	725,488	△94,718	△1,162	629,607	△69,420	560,186	△326,527	233,658

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△326,527千円は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 3
	広告事業	アプリ・ メディア 事業	海外事業	計				
売上高								
外部顧客に対 する売上高	7,592,961	252,688	1,582,826	9,428,475	53,876	9,482,352	—	9,482,352
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	88,505	22	61,878	150,407	26,149	176,556	△176,556	—
計	7,681,467	252,710	1,644,705	9,578,883	80,025	9,658,908	△176,556	9,482,352
セグメント利 益又は損失 (△)	725,325	△60,113	△22,858	642,353	△79,765	562,587	△357,641	204,945

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規事業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△357,641千円は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「海外事業」セグメントにおいて、保有するソフトウェアについて減損損失4,742千円特別損失に計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

「(会計方針の変更)」に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間から「企業結合に関する会計基準」等を適用しております。

この変更によるのれんの減少額は、当第1四半期連結累計期間において、「広告事業」セグメントが10,955千円、「アプリ・メディア事業」セグメントが313千円、「海外事業」セグメントが5,678千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「(会計方針の変更)」に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間から「企業結合に関する会計基準」等を適用しております。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べ、当第1四半期連結累計期間のセグメント利益が、それぞれ「広告事業」セグメントで759千円、「アプリ・メディア事業」セグメントで22千円、「海外事業」セグメントで532千円増加しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。